

令和6年度 学校評価自己評価表

世羅町立甲山小学校

a ミッション	資質・能力の育成に向け主体的に学び続ける教職員集団による学校づくりの推進	a ビジョン (子ども達に育てたい資質・能力) 自発性・コミュニケーション能力
		(学校教育目標) 夢や目標をもち、主体的に学び続ける児童の育成 (めざす子供像) ○資質・能力を身に付け、主体的に学び続ける子供 ○自他の良さや可能性を知り、他者と協働できる子供 ○基本的生活習慣を身に付け、健康や体力等を増進する子供 (めざす教職員像) ○確かな授業力をもつ教職員 ○児童理解を大切にし、児童の力を最大限に引き出せる教職員 ○主体的に学校経営に参画する教職員

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ	
確かな学力	主体的に学び、学力を身に付けている児童の育成	○資質・能力の育成を目指して、個別最適な学びと協働的な学びを表現する。 ・甲山小学校150周年プロジェクトをカリキュラムに位置付け、教科横断的な単元を構想する。また、プロジェクトを推進する中で、協働的に学んだりキャリアについて自分自身を見つめたりする活動を進める。 ・単元内自由進度学習の実践を重ね、自分で学習計画を立てて自分で進める過程を通して、自発性や自己調整力など、学びをデザインする力を育成する。(各学年部学期1回)	・全国学力学習状況調査、標準学力調査における学年平均が全国平均を上回る割合。 ・児童アンケートによるアイデンティティ、自発性、コミュニケーション力についての肯定的評価の割合。 ・教師アンケート(授業観察)による児童の姿についての肯定的評価。	・全学年・教科で上回る。(100%) ・90%以上 ・5段階評価における4以上									
豊かな心	自他の良さや可能性を認識し、協働できる児童の育成 ○道徳教育を核にした心豊かな児童の育成	・150周年プロジェクトと関連させ、児童会本部及び各委員会活動が創造的な取り組みを実践する。 ・主体的に生活上の課題を解決する取組を行う。(あいさつ・返事・MUGON3を含む) ・全ての教育活動において、常に道徳的な側面を意識した指導を行う。	・児童アンケート「150周年プロジェクトをよりよいものにするために進んで友達と協力して取り組めたか」 ・児童アンケート「月目標を達成するために自分から進んで頑張ることができたか」 ・教職員アンケート「全ての教育活動において、常に道徳的側面を意識した指導を行うことができたか」	肯定的評価 80%以上 肯定的評価 80%以上 肯定的評価 100%									
健やかな体	主体的に健康や体力等を増進する児童の育成	○課題意識をもち、体力づくりをする児童の育成 ○基本的生活習慣の確立 ○危機予測・回避能力の育成	・新体力テストのボール投げに重点を置いた取組を進め、レベルアップを図る。 ・早寝・早起き・朝ごはん等について毎月生活チャレンジ習慣を設定して取り組む。 ・けが・交通事故・アレルギー・不審者対応等、児童の危機意識を高め、回避する力を育成する。	・体力テストのボール投げの記録で、全国平均を上回る学年(男女別)の割合 ・生活チャレンジの「早起き」のパーフェクトの割合 ・避難訓練等実施後、自ら動けたかを評価する。	ボール投げ 65% 早起き 90% 自己評価 85%								
信頼される学校	地域とともにある学校づくりの推進	○コミュニティ・スクールの推進 ○教職員がやりがいをもつ学校経営の推進	・150周年記念行事等学校教育活動に協力して下さるサポートスタッフを増やし、地域と共に教育活動を進める。 ・教育公務員としての自覚をもって職務に当たり、組織的な対応がとれるように、きめ細やかな報連相を行い、学校運営を行う。	・150周年記念行事等学校教育活動へのサポートスタッフとしての参加者が延べ100名を超える。7月達成目標50名 1月達成目標100名 ・教職員アンケート「組織的な報連相を行っている」という項目の肯定的評価の割合	参加者 7月 1月それぞれ 100% 肯定的評価 90%以上								

【自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成)
B: 80≦(ほぼ達成) < 100
C: 60≦(もう少し) < 80
D: (できていない) < 60

【外部評価】
イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: わからない。